



環境・くらし

問 谷和原庁舎生活環境課

☎58・2111 (内線3306)

スプレー缶はしっかりガス抜きを

■ガス抜き作業時の注意事項

○風通しの良い屋外で行う。

○周囲に火の気がないことを確認する。

○一度に大量に処分せず、少量ずつ処分する。

【カセットボンベ・スプレー缶のガス抜き作業】

①キャップを外し、ボンベを逆さまにして、ボンベの先端の突出部(ノズル)を、石やコンクリートなどの硬いものに押し付ける。

※ガス抜きキャップなどが付い

ているものは、それを活用しガスを抜いてください。

②ノズルから気化したガスが噴出する。

※未使用の場合、10分程度。

③ガスが残っていないか確認する。

※缶を振って中の音を聞いて「シャカシャカ」という液体音がせず、噴射ボタンを押しても噴射音が聞こえなくなったことを確認してください。

④穴あけ器などを使い缶に穴を空ける。

⑤「あき缶」として出す。キャップ類は「プラ容器」として出す。

【問い合わせ】

○カセットボンベ：(社)日本ガス石油機器工業会「カセットボンベお客様センター」(フリーダイヤル ☎0120・14・9996)

○スプレー缶：(社)日本エアゾール協会 (☎03・5207・9850)

①操作レバーを押し下げる。着火した場合は吹き消す。

②輪ゴムや粘着力の強いテープなどで押し下げたままレバーを固定する。

③「シュー」という音が聞こえればガスが噴出している。聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向にいったばい動かす。

④この状態のままに半日から1日置く。

※子どもの手が届かない場所を選ぶ。

⑤着火操作をして、火が着かなければガス抜きは完了。

⑥「不燃ごみ」として出す。

【問い合わせ】

(社)日本喫煙具協会 ☎03・3845・6121



環境・くらし

問 谷和原庁舎建設課

☎58・2111 (内線5207)

適正な土地の管理をお願いします

樹木は早めに剪定を

道路に接する民地で管理している樹木や生垣が、枝葉を落としたり、道路上に伸び出ていることがあります。車両や歩行者の通行の妨げとなり、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

これらが原因で事故が発生した場合は、当該樹木の所有者が責任を問われることがあります。このような状況が見られる樹木所有者の皆さんには、事故を未然に防ぎ、安全に道路を利用できるように、早めの剪定・伐採・除草をお願いします。

土砂の流出にも注意

大雨により、畑や荒地などの民地から道路に土砂が流出している場合があります。土砂が道路に流出すると、側溝をつまらせたり、道路幅員の減少を引き起こすなど、通行の支障となります。

また、農作業により田んぼや

畑の土が道路に散乱しているところも見受けられます。自転車や歩行者の通行の支障となりますので、土地所有者および土地管理者の皆さんは適正な管理をお願いします。

◆作業上の注意事項◆

○電線や電話線がある箇所の作業は危険が伴います。事前に最寄りの東京電力やNTTに確認してください。

○通行車両や歩行者の安全確保と、樹木からの転落防止など十分にご注意ください。

【連絡先】

○東京電力：茨城カスタマーセンター(停電・設備に関するお問い合わせ先) ☎0120・995・007

○NTT東日本 ☎113 (局番なし)

※携帯電話・PHS・NTT東日本以外の固定電話からの場合
フリーダイヤル ☎0120・444・113

ごみカレンダー 配布しました!

3月号の広報紙とあわせて「ごみ・資源物収集カレンダー」を各戸に配布しました。

令和2年4月から令和3年3月までのごみ収集は「ごみ・資源物収集カレンダー」により行います。万が一紛失してしまった場合、複数枚必要な場合は、市のホームページからダウンロードできます。

(<https://www.city.tsukubamirai.lg.jp/viewer/info.html?id=265>)

問 谷和原庁舎生活環境課 ☎58 - 2111 (内線3306)